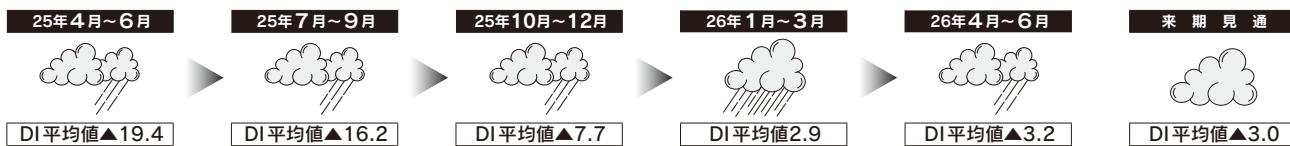


# 県内中小企業(製造業)景況動向

平成26年4月～6月期

本会調査結果概要



## 業種別景況動向

### 食料品

10-12	1-3	4-6	来期見通
▲24.0	▲4.6	▲10.6	▲6.1
<p>前年同期比の売上高DIは▲9.1、収益性DIは▲12.1で、両方を合わせたDI平均値は▲10.6となり、「小雨」模様に転じている。来期見通しは、4.5ポイント上昇して▲6.1となり、「小雨」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高DIは▲21.2、収益性DIは▲7.2となった。</p> <p>また、雇用人員判断DIは▲0.7、設備操業率DIは▲3.7、設備投資実施率は33.3%となった。</p>			

### 繊維・同製品

10-12	1-3	4-6	来期見通
▲25.0	▲20.4	▲4.2	0.0
<p>前年同期比の売上高DIは3.7、収益性DIは▲12.0で、両方を合わせたDI平均値は▲4.2となり、「曇」模様に転じている。来期見通しは、4.2ポイント上昇して0.0となり、「曇」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高DIは3.7、収益性DIは▲15.8となった。</p> <p>また、雇用人員判断DIは▲3.3、設備操業率DIは▲15.8、設備投資実施率は11.5%となった。</p>			



## 概況

売上高と収益性を合わせたDI平均値(前年同期比)については▲3.2となり、前回調査(26年1-3月期)から6.1ポイント下降している。来期見通しにおいては、▲3.0となっている。

売上高DI(前年同期比)については2.4となり、前回調査から9.3ポイント下降している。来期見通しにおいては、1.9となっている。

収益性DI(前年同期比)については▲8.8となり、前回調査

から2.9ポイント下降している。来期見通しにおいては、▲7.8となっている。

業況DI(前年同期比)については、「好転」したとする企業は17.6%、「悪化」したとする企業は20.0%で、DIは▲2.4となり、前回調査から2.4ポイント下降している。来期見通しにおいては▲2.0となっている。





原材料価格DI(前期比)については27.0となり、前回調査から2.1ポイント上昇している。販売価格DI(前期比)については0.5となり、前回調査から2.0ポイント下降している。資金繰

りDI(前期比)については▲7.4となり、前回調査から2.5ポイント上昇している。金融機関の態度DI(前期比)については▲0.5となり、前回調査から1.5ポイント上昇している。





設備投資実施率については25.9%となり、前回調査より1.7ポイント下降している。業種別で最も高い実施率となったのは、「金属・同製品」の37.8%で、目的別では、「増産」が33.3%でトップであった。

設備操業率については、▲10.7となり、前回調査から10.1ポイント下降している。





### 紙・加工品

10-12	1-3	4-6	来期見通
			
12.3	▲6.7	7.0	0.0
<p>前年同期比の売上高D Iは7.2、収益性D Iは6.7で、両方を合せたD I平均値は7.0となり、「曇」模様になっている。来期見通しは、7.0ポイント下降して0.0となり、「曇」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲7.1、収益性D Iは▲23.1となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは▲5.4、設備操業率D Iは▲7.7、設備投資実施率は0.0%となった。</p>			





### 木材・木製品

10-12	1-3	4-6	来期見通
			
20.0	22.2	▲22.2	▲16.7
<p>前年同期比の売上高D Iは▲22.2、収益性D Iは▲22.2で、両方を合せたD I平均値は▲22.2となり、「小雨」模様になっている。来期見通しは5.5ポイント上昇して▲16.7となり、「小雨」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲25.0、収益性D Iは▲22.2となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは7.2、設備操業率D Iは▲22.2、設備投資実施率は12.5%となった。</p>			





### 金属・同製品

10-12	1-3	4-6	来期見通
			
▲1.4	▲5.7	▲14.5	▲10.8
<p>前年同期比の売上高D Iは▲7.9、収益性D Iは▲21.0で、両方を合せたD I平均値は▲14.5となり「小雨」模様が続いている。来期見通しは3.7ポイント上昇し▲10.8となり、「小雨」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲18.4、収益性D Iは▲27.0となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは8.7、設備操業率D Iは▲20.0、設備投資実施率は37.8%となった。</p>			





### 窯業・土石製品

10-12	1-3	4-6	来期見通
			
1.2	14.8	2.9	4.3
<p>前年同期比の売上高D Iは5.7、収益性D Iは好転、悪化とも22.9%で0.0、両方を合せたD I平均値は2.9となり「曇」模様になっている。来期見通しは、1.4ポイント上昇して4.3となり、「曇」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲20.0、収益性D Iは▲30.0となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは5.3、設備操業率D Iは▲30.0、設備投資実施率は28.6%となった。</p>			

### プラスチック製品

10-12	1-3	4-6	来期見通
			
▲10.0	14.3	10.0	10.0
<p>前年同期比の売上高D Iは20.0、収益性D Iは好転、悪化とも0.0%で0.0、両方を合せたD I平均値は10.0となり「薄日」模様が続いている。来期見通しも、10.0となり、唯一「薄日」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは40.0、収益性D Iは20.0となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは3.3、設備操業率D Iは20.0、設備投資実施率は20.0%となった。</p>			

### 機械・機器

10-12	1-3	4-6	来期見通
			
▲12.2	17.1	6.5	▲1.2
<p>前年同期比の売上高D Iは17.4、収益性D Iは▲4.4で、両方を合せたD I平均値は6.5となり「曇」模様になっている。来期見通しは、7.7ポイント下降して▲1.2となり、「曇」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは2.2、収益性D Iは▲2.4となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは▲10.2、設備操業率D Iは4.9、設備投資実施率は27.9%となった。</p>			